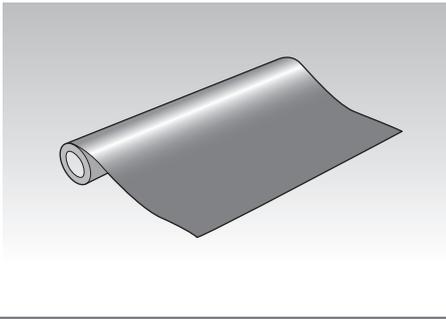


施工説明書

VERITIS タックシート

品番：MJN1BTSシリーズ



安全上のご注意 (必ずお守りください)

◎人への危害、財産の損害を防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

してはいけない内容です。

実行しなければならぬ内容です。

注意

禁止

●離型紙や端材などを床に放置しない
踏みつけた場合、足を滑らせ転倒するおそれがあります。

必ず守る

●下地調整およびプライマーを使用する場合は、十分な換気を行う気分を悪くするおそれがあります。
●火気類を近づけないようにする
引火して、やけどをするおそれがあります。

品質上のお願い

- 一度はがしたシートを再度貼り付けしない
接着力の低下、シワの原因となります。
- 三次曲面への貼り付けはしない
シートのシワの原因となります。
- シンナーやベンジンなどの溶剤、研磨剤が含まれた洗剤でふかない、殺虫剤をかけない
変色、傷、光沢が損なわれる原因となります。

- 施工後、同梱の取扱説明書をコピーして
施主様へお渡しする
- 施工説明書、取扱説明書は商品とともに
外装箱に保管する
- 購入後、1年以内に使用する
十分な粘着性が得られなくなるおそれがあります。

■この商品は、一般住宅、それに準じる居住施設および高齢者施設、小規模商業施設(床面積150㎡未満)の屋内専用商品です。土足で利用される建物でのご使用や他の用途へのご使用はおやめください。不特定多数の方が利用する建築物(学校、体育館、その他小規模商業施設であっても不特定多数の方が利用する施設など)や、過酷な条件(高温・多湿、寒冷、油分が多いなど)でのご使用はおやめください。

■施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は施工前に必ずお読みください。

■施工説明書に記載されていない方法で施工されたことにより事故や損傷、シートのはがれなどが生じた場合は、製品保証の対象外となります。

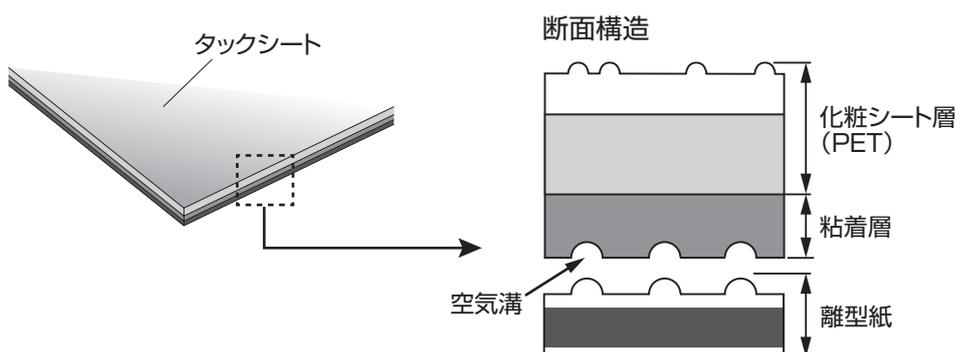
■施工後は、引き渡しの前に巻末の施工後のチェックを実施してください。

■この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での施工はしないでください。

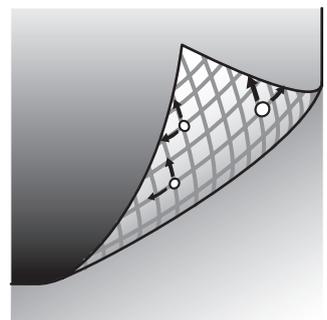
製品特長

■シート構成

- ・VERITISタックシートは粘着剤付きVERITIS柄化粧PETシートです。
- ・シート裏面(粘着層)には、空気抜きを容易にする溝加工を施しております。



空気溝パターン



施工手順

施工環境調整

貼付下地調整

採寸・シート裁断

シート貼り施工

施工前

■使用部材



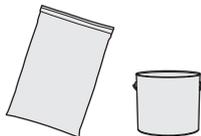
プライマー

※ソックンプライマーマイルド
(ヤヨイ化学工業(株)製)



シーラー

(現場調達品)



パテ

(現場調達品)

■使用工具



スキージー

(現場調達品)



カッター

(現場調達品)



巻尺

(現場調達品)



定規

(現場調達品)

■施工環境

●環境

・施工前には、施工面だけでなく床面の清掃も行ってください。静電気が発生しやすい場合は霧吹きなどで床に水をまくなど、防じん対策を行ってください。タックシートと施工面の間に異物が入ると、外観上の膨れなどの原因となります。

●照明

・必要に応じて照明器具を用意し、明るい環境で施工してください。照明が暗い場合、異物の混入や気泡を見逃すおそれがあります。

●温度・湿度

・最適な貼り付け温度は20～25℃程度です。(最低施工可能温度は12℃程度)。特にスチール下地の場合は周囲の温度環境に左右されやすいのでご注意ください。

・低温時は裏面の接着効果が発揮されにくく接着不良になりやすいので施工を延期するか、またはジェットヒーターを使用するなど現場環境を改善してから施工してください。

・下地表面を乾燥させてから貼り付けてください。貼付下地に湿気がある場合(多湿、低温時の結露など)、そのまま貼り付けると十分な接着ができません。

・低温時は材質や製法上の理由により、硬く、割れやすくなりますので、取り扱いには注意してください。

・高温の下地面への貼り付けは、粘着が強くなり作業性が悪くなります。下地を冷ましてから施工してください。

■タックシート使用場所

・本製品は一般住宅、それに準じる居住施設および高齢者施設、小規模商業施設(床面積150㎡未満)の内装用タックシートです。屋外では使用しないでください。

・床面には使用しないでください。

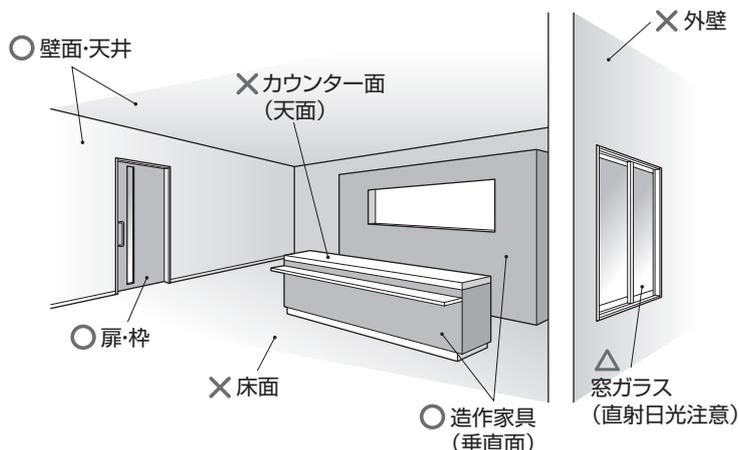
・カウンターなどの水平面には使用しないでください。

・水廻りに施工する場合、端部や下地からの水分で接着不良を起こすおそれがあります。耐水性の下地に貼り付け、端部への防水処理を行ってください。

・直射日光のあたるガラスに貼る場合、ガラスが蓄熱し割れる可能性がありますのでご注意ください。

・熱による伸びが少ないため、三次曲面への貼り付けはできません。平面、二次面へ貼り付けてください。

・本製品は不燃認定材料ではありません。不燃を想定した使用はしないでください。



施工時

■ 下地調整

● 下地表面

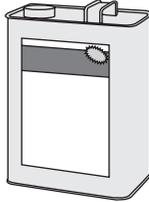
- ・下地表面の油分、水分、ゴミなどを完全に除去してください。
- ・下地表面に凹凸がある場合は、パテで凹部を埋めてペーパー掛けを行い平滑にしてください。凹凸がある下地にタックシートを貼り付けると、凹凸が表面に現れ外観が悪くなる可能性があります。
- ・パテを使用する場合は、できるだけ下地の色調に近いものを選択してください。色柄によっては下地の色が透け、シート貼り付け後の仕上がりに影響を及ぼすおそれがあります。

対象下地			
木質系	シナベニア	プラスチック系	ポリエステル化粧板
	ラワンベニア		アクリル
	MDF		ABS
無機系ボード類	石膏ボード		メラミン化粧板
	ケイ酸カルシウム板		硬質塩ビ
	火山性ガラス質複層板		人造大理石
金属板類	焼付塗装鋼板	無機系	モルタル
	電気亜鉛メッキ鋼板		ガラス
	塩ビ鋼板		
	メラミン焼付鋼板		
	ステンレス		
	アルミニウム		

● プライマー

- ・下記の表を参考にシーラー・パテ処理を行った後、プライマー処理を行ってください。
- ・プライマーは塗りむらなく、平滑に塗布してください。塗りむらにより凹凸が生じたままシートを貼り付けると、凹凸が表面に現れ外観が悪くなる可能性があります。
- ・出隅、入隅部分、曲げ代が5mm以下の部分についてはプライマー処理(2度塗り)を行い、接着強度を高めてください。(推奨プライマー処理剤:ソッカンプライマーマイルド(ヤヨイ化学工業(株)製))

ソッカンプライマーマイルド

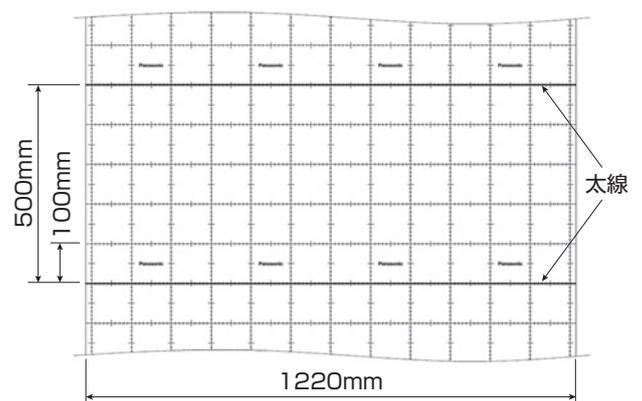
	容量	3kg缶	15kg缶
	主成分	合成ゴム系	
	外観	茶褐色粘性液体	
	粘度	200~600mPa・s	
	標準塗布量	100~150g/㎡	
	有効期間	6か月	

	シナベニヤ ラワンベニヤ	MDF	無機系ボード類	金属板類	プラスチック系	モルタル	ガラス
事前処理	釘頭・段違いの処理			錆、油脂、異物の除去	—	乾燥状態の確認	—
シーラー処理	水系、溶剤系シーラー			—	—	水系、溶剤系シーラー	—
パテ処理	粉体パテ	ポリエステル系パテ	粉体パテ	ポリエステル系パテ		粉体パテ	—
表面研磨	サンドペーパー						—
表面清掃	アルコール清掃						—
プライマー処理	施工面全体にむらなく均一に塗布						—

■ 貼り付け

● 裁断

- ・縦横に100mm間隔の方眼が、目安として入っています。
- ・正確な寸法で裁断する際は、巻尺などで必要な寸法を測定し、裁断を行ってください。
- ・ロールからシートを裁断したり、巻き直したりする際は表面の傷、静電気によるゴミの付着防止のため、シート裁断用下敷きなどで養生を行ってください。
- ・裁断後のシートを一時保管する場合、ロール状にして立て、シートに傷やシワがつかないようにし、引きずったり下積みはしないでください。
- ・ロールからシートを巻き出し平面状にすると、離型紙とシートがはがれることがありますのでご注意ください。



●貼り付け

・シートの位置決めを行い、スキージーなどを用いて空気が入らないように貼り付けてください。

・貼り直しを行う場合は、はがしたシートではなく新たなシートを貼り付けてください。一度はがしたシートは、折れやシワが発生し、接着力が低下するおそれがあります。

●重ね貼り

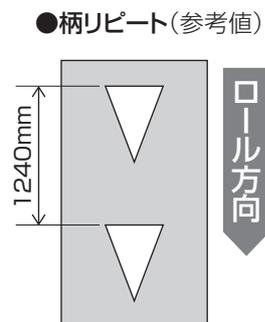
・重ね貼りを行う場合は、重なる部分のシート表面を120番程度のサンドペーパーでサンディングしプライマーの塗布、乾燥後貼り付けてください。その際、プライマーのはみ出しがないようご注意ください。

●突合せ貼り

・突合せ貼りの場合は、施工後に隙間が生じるおそれがありますので、突合せ部の下地にシートと同系色の色を塗り、プライマーを2度塗りすることを推奨します。

●色柄のばらつき

・VERITISタックシートは、同じ柄でもロットにより色調、ツヤなどが若干異なることがあります。また、同一シート内でも箇所により色調、濃淡の差がある製品となっております。重ね貼り、突合せ貼りなど、柄合わせが必要な場合は、柄リピートピッチを参考に施工してください。



施工後

■施工後

・タックシート接着力は、時間とともに上昇し、7日程で最大強度に達します。貼り替えなどによりシートをはがす場合、下地を傷めるおそれがありますのでご注意ください。

・端材などを廃棄する場合は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に従い、許可を受けた産業廃棄物業者に処分を委託してください。

・施工後の急激な温度変化は膨れ、目すきの原因となりますのでご注意ください。

■メンテナンス

・表面が汚れたときは、家庭用中性洗剤を薄めた水にひたした柔らかい布を、よく絞ってから拭いてください。シンナー、ベンジンなどで拭いたり、殺虫剤をかけたりしますと、変色や光沢が損なわれたり、クラックの原因となります。

・清掃後、シート表面に残った洗剤は水拭きで除去してください。

・クレンザーなど、研磨剤が含まれた洗剤やスポンジ、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。シートの傷、変色の原因となります。

■保管・運搬

・製品の保管、運搬の際は、11段以上の積段やパレット2段積みは行わないでください。また、梱包箱の落下にご注意ください。

・直射日光および高湿、高温下(40℃以上)での長期保管はしないでください。シート粘着力低下の原因となります。

・購入後、1年以内に使用してください。

・シートの保管は、購入時と同様の梱包形態(段ボール内)で行ってください。

施工後のチェック

確認項目
①シートのはがれ、シワ、空気残りはありますか?
②シートのはがれが起こりそうな個所にプライマー処理(2度塗り)は行いましたか?
③傷、汚れはありますか?
④施主様に取扱説明書のコピーをお渡ししましたか?

パナソニックハウジングソリューションズ株式会社 建築システム事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Housing Solutions Co., Ltd. 2022

MJ-223/D1214-3042